

巻頭言

つながり、かさなり、ひろがる授業 －12年間の「知」の構築を目指して－

新学習指導要領は、子どもたちの現状をふまえ、「生きる力」を育むという理念のもと、知識や技能の習得とともに思考力・判断力・表現力などの育成を重視して、

小学校では平成23年4月から

中学校では平成24年4月から

高等学校では平成25年度入学生から（数学及び理科は平成24年度入学生から）

実施中です。

本校は、教員養成大学の附属学校として、新しい教育に取り組む研究・実践校、教育実習校として、創立以来、その時々様々な教育課題に対する研究に取り組んでまいりました。

平成21年度から、同一キャンパス内（池田地区）にある大阪教育大学附属池田小学校・同附属池田中学校・同附属高等学校池田校合は、大学と連携した共同研究に取り組むため、池田地区共同研究協議会を発足させました。そして平成25年度からの3年間の共通テーマ「つながり、かさなり、ひろがる授業 －12年間の「知」の構築を目指して－」のもと、「生きる力」をもち社会貢献できる人間育成を目指して共同研究に取り組んでいます。

本校では、これまでから副題である12年間の「知」の構築を目指した学習指導を各教科で実践してまいりました。3年目に当たる今年度の研究では、12年間の系統性と階層性をもち、「知」を鍛える（「知」の認識・構造化・活用）授業における評価はどうあるべきかを考えて取り組んで参りました。

また、平成22年度から3校種が同日開催の形で研究発表会を行い、小・中・高が連携して取り組んだ研究成果を発表してきました。

本研究紀要は、上記研究発表会で発表した研究成果を基にまとめたものです。つきましては、皆さまからの忌憚ないご叱正とご指導を賜り、さらに研究を深めて参りたいと考えております。

平成28年3月

大阪教育大学附属池田中学校
校長 野浪 正隆